

## 投手の 12 秒及び、20 秒ルールの適用に関するガイドライン

日本リトルシニア中学硬式野球協会

2017 年から採用する投手に関する「12 秒及び、20 秒ルール」の適用に関するガイドラインを以下に示す。

### 1. 12 秒及び、20 秒ルール

投手は、捕手、その他の内野手または審判員からボールを受けた後、走者がいない場合には 12 秒以内に、走者がいる場合には 20 秒以内に投球しなければならない。

違反した場合、球審は走者が塁にいない場合にはただちにボールを宣告し、走者がいる場合は警告を発することとし、同一の投手が 2 度繰り返したら、3 度目からはその都度ボールを宣告する。なお、塁に牽制球を送球したときは、20 秒の計時をリセットする。

### 2. 計時

計時は 2 塁塁審が行う。

### 3. 12 秒ルールの適用

- ① 走者がいない場合に適用する。
- ② 12 秒の計時は、投手がボールを所持し、打者がバッタースボックスに入って投手に面した時に始まり、ボールが投手の手から離れた時に終わる。  
※投手が投手板についているかどうかに関係なく、打者の準備が整ったときに計時を始める。
- ③ 12 秒を経過したとき(13 秒になったとき)、2 塁塁審はタイムを宣告し、球審に 12 秒が経過したことを知らせる。  
※2 塁塁審のタイムの宣告と同時にボールデッドとなる。  
※タイムの宣告にもかかわらず投手が投球したり、その投球を打者が打ったとしてもそれは無効となる。
- ④ 2 塁塁審の知らせを受けた球審は、ボールを宣告する。その際、球審は投手及び、守備側の監督に 12 秒ルールを適用したことを告げる。

### 4. 20 秒ルールの適用

- ① 走者がいる場合に適用する。
- ② 20 秒の計時は、次のときに始まり、いずれの場合も投手の手から離れたときに終わる。  
A) イニングが始まる時やボールデッドになったときは、球審がプレイを宣告したとき。  
B) ボールインプレイの状態、新しい打者が打撃を開始するときや、打者がバッタースボックスの外に出ざるを得なくなったときなどは、投手がボールを所持し、打者がバッタースボックスに入って投手に面したとき。  
※投手が投手板についているかどうかに関係なく、打者の準備が整ったときに計時を始める。  
C) ボールインプレイの状態、打者がバッタースボックス内で打撃を継続しているときは、投手が捕手や他の野手からボールを受け取ったとき。
- ③ 1 度目・2 度目に 20 秒を経過したとき(21 秒になったとき)、2 塁塁審はタイムを宣告し、球審、投手及び、守備側の監督に 20 秒が経過したこと及び、その回数を知らせる。
- ④ 3 度目に 20 秒を経過したとき(21 秒になったとき)、2 塁塁審と球審は、走者がいないときと同様の処置をする。
- ⑤ 投手が塁に牽制球を送球したときは、20 秒の計時をリセットする。  
※投手板をはずしただけのときや偽投の時は、計時を継続する。

以上